

主要施策名:(1)自然環境の保全

事務事業本数:8

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
②人と自然にやさしい環境のまちづくり	(1)自然環境の保全		210-1	狂犬病予防事業	環境整備課
			210-2	防疫事業	環境整備課
			210-3	横島墓地公苑管理事業	環境整備課
		(2)河川環境の保全	212-1	河川環境保全啓発事業	環境整備課
			212-2	環境調査監視事業	環境整備課
			212-3	ふるさと環境づくり事業	環境整備課
		(4)「環境の先進地、環境立都 玉名」の推進	214-1	環境美化推進事業	環境整備課
			214-2	公害防止対策事業	環境整備課

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	狂犬病予防事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 狂犬病予防法、玉名市犬の登録等事務処理要領 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 1 目 2 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在、日本では狂犬病は発生していないが、海外では毎年5万人の死者が出ている地域がある。日本にも何らかの形で入ってくる可能性があるため、狂犬病予防法に基づき、犬の管理を行い、狂犬病の予防接種を行うことが義務付けられている。
対象(誰、何に対して) 【9】	犬を所有している市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	犬の登録事務を行うことにより、行方不明犬の保護や咬傷事故等の確認を行う。また、狂犬病予防注射を行うことにより狂犬病の発生を予防するとともに、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・4月、5月、11月に各地区を巡回し狂犬病予防集合注射を行う。 ・野犬の苦情に対応し、有明保健所と連携し捕獲業務を行う。 ・飼犬を登録管理し、行方不明犬の保護や咬傷事故等に対応する。(注射代2,600円、注射済証代500円、登録料3,000円)	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 狂犬病予防集合注射業務 ② 野犬捕獲業務 ③ 犬の登録業務 ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		713	677	706	825	0
		【16】 小 計		713	677	706	825	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		1.07	0.92	0.79	0.84	
		職員の年間平均給与(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計			6,164	5,401	4,638	4,932		
合 計			6,877	6,078	5,344	5,757		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 狂犬病予防集合注射業務	地区巡回し集合注射を行う。	注射件数	件	3298	3057	2740	2800
② 野犬捕獲業務	檻等を利用し野犬を捕獲する。	苦情処理出動回数	回	151	106	110	100
③ 犬の登録業務	飼犬の登録管理を行う。	新規登録数	件	208	239	233	200
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 登録犬注射率	注射件数/登録件数	%	100	100	100	100
			71	75	68.6	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	平成28年度の集合注射の減少については、熊本地震の時期と重なったためと思われる。 また、本来、飼犬についてはすべてを登録し管理していかなければならないが、家の中で飼う小型犬などは、登録していなかったり、死亡しても届け出がないなどの問題があるため、登録犬の注射率も7割程度となっている。根気よく啓発を行っていく必要がある。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	未登録犬の掘りおこし、死亡犬の抹消等での台帳管理を徹底した。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	犬の登録管理、狂犬病予防注射の接種率向上への努力をしながら法律に基づき継続する。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	-----------------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	防疫事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 1 目 4 細目 4			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在、道路や側溝など社会資源の整備がほぼ整っているが、古くなって水の流が悪くなっているところなどが見受けられ、その水が溜まって澱んでいるところなどで蚊などの害虫が大量に発生したりしている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	水系には害がなく、蚊の幼虫などの成長を抑制する薬を行政区に配布したり、消毒噴霧器の個人や団体への貸出しを行うことによって害虫の発生などを抑制し市民生活の公衆衛生の向上に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・流れの悪くなった側溝などに撒く消毒剤を希望の行政区へ配布し、害虫発生を抑制する。 ・希望者に屋内消毒機を貸出すことで害虫発生を抑制する。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】
			① 側溝用消毒剤配布事業 ② 屋内消毒機貸出業務 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		2,006	1,511	1,544	1,806	0
	【16】 小計			2,006	1,511	1,544	1,806	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.25	0.25	0.12	0.12	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			1,440	1,468	705	705		
合計			3,446	2,979	2,249	2,511		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 側溝用消毒剤配布事業	消毒剤を配布し害虫発生を防ぐ。	配布個数	個	144	134	180	180
② 屋内消毒機貸出業務	噴霧器を貸出し害虫発生を防ぐ。	貸出し可能台数	台	6	6	6	6
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 側溝用消毒剤配布行政区数	年間に配布した行政区の数	区	60 72	72 67	67 59	
2 屋内消毒機(噴霧器)貸出し件数	年間に市民又は行政区等に貸し出した件数	件	37 31	31 50	50 90	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	消毒剤の配布、屋内消毒器の貸出ともに需要があり、廃止や休止した場合、害虫等が発生しやすくなり、市民生活の公衆衛生面で悪影響が出てくる。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	薬剤の住民負担について検討したが、個人への貸出が多く少量の薬剤で済み負担が大きくなる。また、サービスの低下にも繋がることから、今後も住民への事業周知を図るとともに、害虫等の発生抑制等の公衆衛生向上のため、現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	住民の公衆衛生向上のため、消毒剤配布と屋内消毒機の貸出は、今後も住民負担なしで継続する。	評価責任者 村崎 信介
-------------------	--	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	横島墓地公苑管理事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
重点施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市横島墓地公苑条例、玉名市横島墓地公苑条例施行規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 1 目 4 細目 5			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	旧横島町の時に整備された横島墓地公苑は、134区画全てが使用されている。整備されてから年数も経過していることから施設自体も痛みが出てきており、墓地の保全のため適切な施設管理が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	墓地使用者、墓地
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	墓地公苑管理使用料を毎年徴収し、公苑管理・修繕、敷地内の除草などを行い、利用者が気持ちよく利用出来るように公苑内の環境を整備する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・使用者が納付する墓地公苑134区画分の管理使用料や永代使用料を基に、施設の修繕や除草・剪定などを行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 横島墓地公苑管理業務 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		387	430	386	497	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0
		【16】 小計		387	430	386	497	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.20	0.20	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			1,152	1,174	587	587		
合計			1,539	1,604	973	1,084		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 横島墓地公苑管理業務	公苑施設の修繕や除草等を行う。	修繕・除草回数	回	4	2	2	2
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 墓地管理苦情件数	寄せられた苦情件数	件	0	0	0	
			0	0	0	
2 契約区画率	契約区画数/管理区画数	%	100	100	100	
			100	100	100	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	現在、個人墓の建設は認めておらず、墓を建てようにも建てる場所もないような状況であるため、公共の墓地公苑は必要である。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	今後も利用者が利用しやすい環境を整えるため、使用者が納付する管理使用料により適切な施設管理運営を図る。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	使用者が利用しやすい環境を整えるため、今後も横島墓地公苑の適切な管理運営は継続する。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	河川環境保全啓発事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	西川慶一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)河川環境の保全		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例、玉名市環境基本条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 環境基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 4 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	近年における社会経済の発展に伴い川の自然浄化作用が低下し、その水質は急速に悪化している状況であり、河川環境の保全に対する意識が必ずしも高いとは言えない。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、学校、事業者、市内を流れる河川
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次代へ引き継いでいく必要があるため、河川の浄化と河川環境の保全を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	市民、学校を対象に、川の生物調査を実施。廃油石けん、ぼかし、EM発酵液づくりを行う市民グループと連携し、普及啓発を図る。河川水援隊に定期的な河川の水質調査、監視を委嘱する。生活排水浄化水路を定期的に清掃し浄化機能を維持保全することで浄化水路による自然浄化への監視を高める。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 河川水援隊事業 ② 廃油石けんの普及事業 ③ EM活性液・ぼかしの普及事業 ④ 天水石けん加工施設維持管理事業 ⑤ 川の中の水生生物調査業務

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		2,453	2,658	1,490	1,734	0
		【16】 小計		2,453	2,658	1,490	1,734	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.10	0.10	0.04	0.05	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			576	587	235	294		
合計			3,029	3,245	1,725	2,028		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 河川水援隊事業	市が委嘱する河川水援隊により定期的な川の水质調査、監視を行う。	調査回数	回	288	288	288	288
② 廃油石けんの普及事業	廃油石けんの原料を関係団体へ支給する。	凝固剤支給量	本	0	0	119	100
③ EM活性液・ぼかしの普及事業	EM活性液、ぼかしの原料を関係団体へ支給する。	培養液支給量	本	67	75	57	40
④ 天水石けん加工施設維持管理事業	天水石けん加工施設を良好な状態に管理する。	利用件数	件	10	10	8	10
⑤ 川の中の水生生物調査業務	小学生による川の生き物調査を市とともに実施する。	実施回数	回	0	1	1	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 河川環境保全啓発活動参加者数	川の生き物調査など河川の保全・浄化啓発に関する活動に参加した延べ人数	人	500	500	500	500
			480	500	648	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	河川環境の保全は行政が主体となるべきで、事業を廃止した場合、河川の浄化が進まなくなり、河川環境が悪化することが懸念される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	美しく豊かな川を次世代に継承するためには、一般家庭における生活排水対策が重要であり、7つの細事業をとおして川の大切さを広く周知、啓発していく必要があり、引き続き現状のまま継続していく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	河川環境保全に寄与する活動である7つの細事業等の継続が必要である。河川の浄化活動については一定の評価が得られており、更なる向上の対策などは今後の推移を見守りたい。	評価責任者 村崎 信介
------------------	---	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	環境調査監視事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	西川慶一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)河川環境の保全		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例、玉名市環境基本条例、総合計画 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 公害防止に関する協定書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 4 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	河川等の水質汚染や土壌、大気汚染などの環境汚染問題が発生した地点の経過を監視することは環境対策のひとつであり、市の責務である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、事業所
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民が快適な環境で生活しているかを把握する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	河川の水質検査を実施し、水質の経年変化を把握。水環境の保全施策に役立てる。通報を元に緊急の水質、土壌等の検査を実施し、原因究明やその対応、解決策を見出す。特定工場排水の調査、監視を実施し適正な排水を促す。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 河川水質検査業務
			② 工場排水土壌検査業務
			③ 緊急水質土壌調査業務
			④
			⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	337	449	404	613	0
		【16】 小計	337	449	404	613	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.10	0.10	0.11	0.08	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		576	587	646	470		
合計		913	1,036	1,050	1,083		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 河川水質検査業務	河川の水質検査を実施する。	検査回数	回	6	6	6	6
② 工場排水土壌検査業務	特定工場排水の調査、監視を実施する。	検査回数	回	1	1	1	1
③ 緊急水質土壌調査業務	突発的な事故等を要因とする水質土壌調査を行う。	検査回数	回	0	1	0	0
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 異常箇所数	調査を行い異常があった箇所数	箇所	0	0	0	0
2			0	0	0	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	過去に環境汚染問題が発生した箇所を主に検査しているため、事業を廃止した場合、事故の再発を防げなくなる可能性がある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	河川の水環境、土壌の保全是、良好な生活環境の保身に結びついており、周辺住民の不安解消のためにも現状のまま継続したい。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公害の発生の未然防止や早期発見、特定工場への注意喚起を促すため、引き続き、河川水質検査等による河川環境の現状把握、特定工場における排水及び周辺河川等の水質及び土壌の調査、監視を現状のまま継続していきたい。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ふるさと環境づくり事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	西川慶一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)河川環境の保全		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 4 項 1 目 4 細目 6			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	ふるさと寄附金の寄附者から「ふるさと玉名の環境づくり」に活用してほしいという要望がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	玉名市内の小中学生及び玉名の環境づくりを行う団体
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市内の小中学生に対し環境教育を実施するとともに環境保全団体等の自主的活動を支援し、環境づくりへの積極的な参画を促す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H21 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	市外居住者から寄附されたふるさと納税制度の寄附金を活用し、市内の小中学生を対象とした環境教育を実施するとともに、環境保全団体等への補助金交付などにより環境保全活動を支援する。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 環境教育事業
			② ふるさと環境づくり補助金事業
			③
			④
			⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	379	369	372	495
		一般財源	100	0	0	0
		【16】 小計	479	369	372	495
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.01	0.01	0.01	0.01
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		58	59	59	59	
合計		537	428	431	554	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 環境教育事業	市内の小中学生を対象として環境教育を実施する。	実施件数	件	5	—	5	5
② ふるさと環境づくり補助金事業	玉名の環境づくりを行う団体等に補助金を交付する。	補助金交付件数	件	0	0	0	0
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 環境教育事業参加児童数	小中学生対象に実施した環境教育の参加人数	人	90 108	100 0	100 103	100
2 団体等活動日数	寄附金活用した団体等の活動日数	日	0 0	0 0	0 0	0

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	小中学校の児童生徒を対象とした環境教育や環境団体等の自主的活動を支援するための寄附金を活用した事業であり、廃止した場合、寄付者の厚意に応えることができない。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ふるさと寄附金の主旨を理解して、本市の小中学校の児童生徒への環境教育や環境団体における保全活動を支援するために寄付をしていただく方々のご協力を得て財源が確保ができれば、事業を今後も継続していきたい。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	小中学生にふるさと玉名の環境に対する理解をさらに深めてもらい、環境保全活動に参加する意識の向上や環境問題の解決に向けた能力の育成を図るため、事業を継続していきたい。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 河川清掃業務補助事業	河川清掃活動を行う団体に報償費を交付する。	団体活動回数	回	20	20	20	20
② 環境美化行動・クリーン作戦事業	市民や関係団体に参加を呼びかけ清掃作業を行う。	参加区数	区	101	96	99	99
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 清掃活動参加人数	環境美化行動・クリーン作戦への参加人数	人	5461	5164	5654	5500
			5164	5654	5981	
2 清掃活動ごみ回収量	環境美化行動・クリーン作戦で回収したごみの量	t	—	—	—	—
			14.70	9.42	6.93	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を続けることにより、市民の環境に対する意識が高まっているところでもあり、廃止や休止した場合、環境美化への意識が薄れるとともに、市内の環境も損なわれる可能性がある。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	クリーン作戦や河川清掃団体の活動も経常化しており、今後も引き続き環境美化活動を根気よく続けていくことにより、市民の美化意識の向上に繋げたい。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	河川清掃団体への補助、環境美化活動(クリーン作戦)については、地域の環境美化と住民の環境に対する意識向上に繋がることから今後も継続する。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公害防止対策事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	西川慶一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(4)「環境の先進地、環境立都 玉名」の推進		
	<input checked="" type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 騒音・振動規制法、悪臭防止法、熊本県生活環境の保全等に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 5 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	悪臭、騒音、振動などの市民の生活環境を脅かす苦情や突発的に油の流出事故発生への対応が行政に求められる。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、事業者、公害苦情、油流出事故
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民からの苦情や事故に適切に対応し、その解決を図り市民への公害被害を防止する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申し立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速な対応をもってその不安を解消する。 県条例に定める各種届出書の速やかで適正な届出を促す。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 公害苦情処理業務 ② 水質事故対策業務 ③ 熊本県生活環境の保全等に関する条例届出業務 ④ 野焼き行為対策業務 ⑤ 一般苦情処理業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	96	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,073	1,190	1,394	3,021	
	【16】 小計	1,073	1,190	1,394	3,117	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.45	1.20	0.85	1.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		8,353	7,045	4,990	7,045		
合計		9,426	8,235	6,384	10,162		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 公害苦情処理業務	苦情申立による現場確認や指導を行う。	対応件数	件	6	29	13	20
② 水質事故対策業務	事故発生時の油回収や中和作業で被害拡大を防ぐ。	対応件数	件	5	7	2	2
③ 熊本県生活環境の保全等に関する条例届出業務	騒音・振動等に関する届出書受付や指導を行う。	届出件数	件	4	12	128	100
④ 野焼き行為対策業務	野焼き禁止の指導や啓発を行う。	対応件数	件	44	21	20	20
⑤ 一般苦情処理業務	空き地管理の苦情に伴う所有者への指導を行う。	対応件数	件	30	18	16	20

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 公害苦情解決率	当該年度の公害苦情解決件数/当該年度の苦情対応件数	%	100	100	100	100
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止した場合、市民の生活環境を脅かす騒音、振動、悪臭などの公害への対応が出来なくなってしまう。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	国、県などの関係機関と庁内各課との協力のもと騒音、振動、悪臭などの公害苦情発生時や河川水質事故等の即時対応と苦情発生を事前に防止するための啓発活動や監視活動を引き続き実施していく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	関係機関との連携強化により対応件数が減少した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	快適な市民生活を送るためには、公害の発生を防止することが重要である。このため、公害防止パトロール、公害苦情相談、事業場への立入調査と改善指導等、水質事故等の対応などを引き続き実施していく。	評価責任者 村崎 信介
------------------	--	----------------